

あま かわ べ 天の川辺



双葉中学校通信

No.7(2026.10.1発行)

〔文責：億田明彦〕

教育目標 「天の時 地の利 人の和」 ～ 時をいかし 強みをいかし 人をいかす 双葉中 ～

目指す生徒像 ・自ら考え、主体的に行動する生徒 ・自分や仲間の強みを認識し、伸ばす生徒

・人権を尊重し、共にによりよく生きようとする生徒

創立 80 周年 双葉中生で描いた「輝」 ～生徒会『夢・志』チャレンジ～



9月16日(水)に双葉中学校創立80周年を記念し、生徒会『夢・志』チャレンジ事業に合せて、全校生徒による人文字「輝」の撮影を行いました。この取組は生徒会が中心となって、一学期から企画・準備したもので、「一人一人が輝けるように」という願いを込めて、「輝」という一文字が選ばれました。

当日は、全校生徒が体操服を着て運動場に集まり、予め打ち込んだポイントや描かれた下絵に沿って一人一人が自分の場所に立ちました。空模様を心配しながらの撮影となりましたが、ドローンがゆっくりと上空へ舞い上がり、皆で両手を上げると、グラウンドいっぱいに大きな「輝」の文字が浮かび上がりました。

この取組は新聞にも取り上げていただきました。学校だよりに掲載した上空からの写真を見ると、改めて皆が集まることのすばらしさを感じました。グラウンドに立っている時には、自分が「輝」という文字のどの部分を担っているのか、全体がどのように見えているのかは、なかなか分かりませんでした。一人一人が自分の場所に立ち、自分の役割を果たすことで、一つの大きな「輝」が完成しました。

私は、この人文字が今の双葉中学校を表しているように思いました。学校には、それぞれ個性をもった生徒がいます。生徒会活動に励んでいる生徒、部活動に打ち込んでいる生徒、行事で仲間を引っ張る生徒、係や委員会の仕事を黙々と続ける生徒、友達の話聞き、そっと支える生徒。人前で力を発揮することだけが「輝く」ということではありません。目立たなくても、自分のやるべきことに誠実に取り組む姿、誰かのために行動する姿もまた、大切な「輝き」です。

そして、一人の「輝き」だけでは学校はつくれません。友達の良さを認め、互いの違いを受け入れ、それぞれの強みを生かし合う。その一人一人の「輝き」が繋がった時、学校全体が大きく「輝き」ます。今回の人文字の取組から、このようなことを感じました。

本校が学校教育目標として掲げる「天の時 地の利 人の和」。創立80周年という節目を迎えた「今」が、まさに「天の時」です。豊かな自然と地域の中で80年にわたり育まれてきた双葉中学校には「地の利」があります。そして何より、生徒、教職員、保護者の皆様、地域の皆様がつながり、支え合う「人の和」があります。双葉中学校の歴史をつくっていくのは、今ここにいる生徒たちです。数年後、十数年後、生徒の皆さんが大人になった時、「節目の年に、皆で『輝』の人文字をつくったな」と思い出してもらえると嬉しいです。そして、その時、それぞれの場所で自分らしく輝いていてほしいと願っています。

部活動で得たもの・・・

一学期末、夏季総体や吹奏楽コンクールを一つの区切りとして、多くの3年生が部活動を引退し、早くも2カ月が過ぎました。県大会、近畿大会、全国大会へと歩みを進めた人、目標としていた結果に届かなかった人、自分の決めた部活動で毎日コツコツと取り組んだ人。それぞれに部活動に対する思いは違います。しかし、共通しているのは、**これまで仲間とともに、一つのことに一生懸命取り組んできた時間があった**ということです。

入部した頃には、できなかったことが毎日の練習を重ねる中で少しずつできるようになったこと。苦しい時に仲間に応えられたこと。時には意見がぶつかり、それでも同じ目標に向かって力を合わせたこと。試合やコンクールに出る人だけでなく、仲間を支え、自分の役割を果たした人もいます。そこには、勝敗や順位だけでは表すことのできない、一人ひとりの頑張りや成長がありました。

大会での結果は、注目されます。それは、日々の努力の成果の一つでもあります。しかし、それ以上に大切なのは、そこに至るまでに**何を学び、どのように成長したか**ということです。

部活動に所属してきた、3年生の皆さん、本当によく頑張りました。皆さんが部活動を通して身につけた、**最後までやり抜く力、仲間を大切にする心、自分の役割を果たそうとする責任感**は、これからの進路先、そしてその先の人生でも、きっと皆さんの心の支えとなります。

そして、3年生が築いてきたものは、1・2年生の後輩へと受け継がれていきます。1・2年生は先輩から受け取った思いを大切にしながら、新しい目標に向かって、それぞれの一步を踏み出してほしいと思います。仲間とともに歩み努力した日々は、自分自身の心の中に一生残ります。本当にお疲れ様でした。そして、たくさんの感動をありがとうございました。



顔戸区よりお礼の電話

「9月21日（水）に顔戸区の日撫神社で開催された相撲大会に、双葉中生が男女15名程参加してくれました。その中で、3年生の駿さんが準備体操を指揮したり、危険な技を行わないよう模範演技をしたりして、とても活躍してくれました。また、3年生の涼介さんもよく頑張ってくれました。地域の行事で中学生が頑張ってくれたので、連絡させてもらいました……。」と顔戸区の竹中様より嬉しい連絡をいただきました。この時の様子が 10月2日（金）から、伊吹山テレビで紹介されるともお聞きました。

学校の中だけでなく、地域の行事に進んで参加し、自分にできることを一生懸命に取り組む生徒たちの姿を知ることができ、大変うれしく思います。特に、地域の方が「中学生が頑張ってくれた」と、その姿を見てくださっていて、ご連絡をいただいたことをありがたく思います。双葉中生が地域の一員として活躍し、地域の方々にも喜んでいただく。そのような双葉中生がこれからも増えていくことを願っています。

軟式野球部

- ・第19回近畿少年軟式野球大会 地区予選 **2位** 県大会出場 (9/21 山本山 G)
- ・第4回長浜ライオンズクラブ杯少年軟式野球大会 **優勝** (9/23 山本山 G)

陸上競技部

- ・第23回日本デフ陸上競技選手権大会兼
第6回日本デフジュニア・ユース陸上競技選手権大会ジュニアユース (平和堂 HATO スタジアム)
3年 廉都さん 1500m 4' 28" 71 **優勝** (9/22)
- ・JOCジュニアオリンピックカップ第20回 U18／第57回 U16 陸上競技大会 (スポーツの杜伊勢陸上競技場)
3年 海翔さん 円盤投 出場 (10/25)

